



## 第12回年会「エピジェネティクスの地平線」開催

第12回日本エピジェネティクス研究会年会在、5月24日～25日の2日間、かでの2・7（北海道道民活動センター）で開催されました。本会は3つの新学術領域研究との共催として、また22社の企業に協賛して頂き、330名の方に参加していただきました。一般講演9題、ショートトーク10題、ポスター発表118題、さらに、奨励賞受賞者1名による受賞講演、次回年会長である古関明彦先生の講演が行われました。

エピジェネティクスという概念は1942年にWaddingtonによって提唱されたものですが、その定義は時代とともに変遷し、現在その研究の裾野は様々な分野に及んでいます。本会では、エピジェネティクス分野の広がりや「地平線」と捉えて、幅広い分野の研究者を講演者として招待して企画されました。講演では活発な質疑応答があり、またポスター会場でも盛んに議論が行われ、エピジェネティクスという研究分野が様々な研究分野とつながりながら発展していることを印象づけました。講演者の皆様、参加者の皆様、また、年会の運営をさせていただいた組織委員会、村上研究室、小布施研究室の皆様、大変ありがとうございました。



講演会場のかでのホール

### 奨励賞受賞者の表彰が行われました

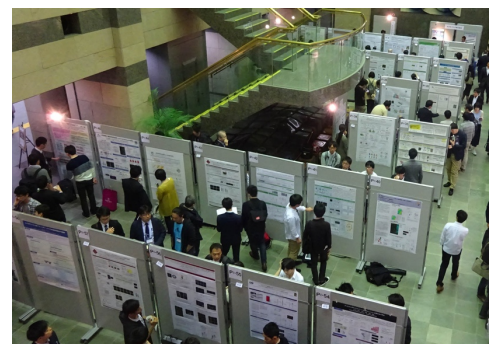
本会の賞等選考委員会による厳正な審査の結果、若手研究者の中から東京大学工学系研究科の林剛介先生が選ばれ、受賞者講演の前に眞貝洋一代表幹事による表彰が行われました。

おめでとうございます！



### 幹事会と総会が開かれました

- ▶ 5月24日に幹事会が、また5月25日に総会が行われました。
- ▶ 2019年の年会は、古関明彦幹事（理化学研究所）を年会長として、5月28、29日に神奈川県立県民ホール、横浜産貿ホールで開催される予定です。詳細は後日お知らせいたします。
- ▶ 2020年の年会長には、近藤豊幹事（名古屋大学）が選出されました。



ポスター会場の様子



第12回エピジェネティクス研究会年会を終わって

第12回日本エピジェネティクス研究会年会長



村上 洋太  
(北海道大学・理学研究院)

第12回年会が無事に終了しました。本州から遠く離れた札幌での開催となり、年会長を引き受けたときから参加者数を心配していたのですが、多くの方に遠路はるばる参加して頂き、盛会となりました。特に、ポスター発表が例年の年会より多く、会場のキャパシティを越えるかと心配するくらいの発表があり、さらに熱気あふれる議論が繰り広げられて大変嬉しく思っています。一般講演では「エピジェネティクスの地平線」をテーマに、幅広い分野の研究者に講演して頂き、新鮮なディスカッションと共に、改めてこの分野の広がりを感じて頂けたのではないかと思います(また自画自賛です)。今後この年会が、エピジェネティクスといった枠組みにこだわることなく、皆様の研究を大きく展開するきっかけになることを祈っています。

最後に、全ての参加者の方々、年会運営にご尽力頂いた皆様、協賛頂いた企業・財団・新学術領域の皆様にご心より感謝いたします。来年5月に再びお目にかかることを楽しみにしております。

情報を求めています!!

研究員・ポスドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしくお願いたします。お近くの広報委員に気軽にe-mailください。

(代表) 中島欽一 (kin1@scb.med.kyushu-u.ac.jp)  
梅澤明弘 (omezawa@1985.jukuin.keio.ac.jp)  
古関明彦 (koseki@rcai.riken.jp)  
胡桃坂仁志 (kurumizaka@iam.u-tokyo.ac.jp)  
中山潤一 (jnakayam@nibb.ac.jp)

日本エピジェネティクス研究会事務局

佐賀大学医学部 分子生命科学講座  
分子遺伝学・エピジェネティクス分野内  
庶務担当幹事: 副島英伸  
担当: 八木ひとみ

住所: 〒849-8501 佐賀県佐賀市鍋島5-1-1  
TEL: 0952-34-2262  
E-mail: jse-jimukyoku@ml.cc.sags-u.ac.jp